



兵庫消防団第5分団
分団長 熊野 俊一 さん

執筆者 兵庫消防団第5分団 小池 秀樹

兵庫消防団第5分団は兵庫区南部を管轄しており、東側は川崎本通り、西側は明治橋までという、南部の兵庫埠頭区域を含む広い範囲で活動しています。私たちの町は、下町情緒あふれるとても住みよい町です。

さて、活動内容ですが、毎月第3日曜日には可搬式動力ポンプの点検整備と地域コミュニティの皆さまにポンプ取り扱いの指導などを行っており、毎月第4木曜日の夜には、分団員全員で会議を行っています。また、市立中学校が総合学習の一環と

わたしもいつかヒーローに

して実施している 消火訓練（5月）
心肺蘇生法（12月） けがの手当法（1月）の指導も行っています。

私たちはほぼ全員が救急インストラクターの資格を持っていて、普段から応急手当の普及に努めています。

私は入団して9年になりますが、一番の思い出といえば、やはり3年前の「第7回神戸市消防団小型動力ポンプ操法大会」で、わが第5分団が兵庫消防団代表として出場し、見事優勝したことです。当時、私たちの管轄区域内であるJR兵庫駅南周辺で放火火災が多発しており、とてもポンプ操法大会どころではないという声もありました。しかし、毎日行っていた夜間パトロールにほかの分団が協力してくれたため、晴れて大会に出場できることになり、私は2番員として選手に抜擢されました。最初は優勝なんて無理、と思っていま

したが、訓練を重ねるにつれ、それが確信へと変わってきました。私もこれまでの人生で、あれほど必死になつたことはありませんでした。大崎文雄本団分団長（当時第5分団分団長）、熊野俊一分団長（当時副分団長）には大変お世話になりました。

どんなときでも常に冷静に、自分が今何をなすべきか考える チームワークが大事であり、一人だけが目立っていいものではない 自分のできることを把握し、それを確実にこなす など、私は消防団に入ってから、日々勉強させていただいています。

ニューヒーロー、熊野分団長のもとで、これからも消防団活動に励み、「失敗しても、それを克服する」。そんなことを繰り返しながら、私もすてきな先輩方に少しでも近づいていけたら...、と思っております。

